

平成 2 9 年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	7 4		学校名	県立下館第二高等学校				課 程		全日制		学校長名		袖山 博			
教 頭 名	赤田部 清浩											事務長名		尾花 義幸			
教職員数	教諭	4 4	養護教諭	1	常勤講師	5	非常勤講師	3	選任教員	1	事務職員	4	技術職員等	4	計	6 5	
生 徒 数	小学科		1年			2年			3年			合計			合計クラス数		
			男	女	男	女	男	女	男	女							
	普 通 科		9 8	1 4 2	1 0 9	1 7 0	9 3	1 7 9	3 0 0	4 9 1	2 0						

2 目指す学校像

文武両道を目指し、心身ともに健康で情操豊かな人間を育成する。
教育活動全体を通じ、自発的な学習意欲や自律の心、途中で諦めない精神力を醸成する。
マナー、絆、助け合うことの大切さ等道德教育を推進する。
教育活動において、学校安全を意識した学校づくりを推進する。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項 目	現 状 分 析	課 題
学習指導	発展的な学習をこなせる生徒がいる反面、基礎学力の定着度や学習意欲が不十分な生徒がおり、生徒間の学力や学習意欲に差が見られる。	基礎学力定着や主体的学習態度の育成のため、アクティブラーニングの授業形態を推進し、興味関心を高める指導を工夫する。
特別活動	今年度は7月に文化祭、10月には球技会を行うが、十分な熱中症対策が必要である。部活動の退部者は減少してきており、活動加入率は上昇してきている。地区大会での上位入賞、関東大会・全国大会への出場を果たしている。	部活動加入率70%以上を保持し、活力ある教育活動を推進する。生徒の自主的、自発的な取組を支援するための創意工夫をする。
進路指導	生徒の進路希望が多方面に分かれている。大学進学希望者が多いが、ほぼ進学希望を達成している。国立大学進学を第一志望とする者に対しての達成率は高くない。	キャリア教育の充実を図り、組織的・計画的な進路指導を通して、生徒の進路実現を推進する。
生徒指導	登下校時の自転車の乗り方や公共施設利用のマナーの注意喚起を促しているが、一部違反する者がいるのが現状である。冬季には、遅刻者延べ数がやや増加の傾向にあるが年間では12%減である。	規範意識の高揚と規律ある生活の指導を工夫して、交通事故等から危機を回避する能力を高揚させる。
第1学年	進路目標が不明確で進路についての知識が不足している生徒が多く見られる。学習意欲や進路に関する意識等、個人差が大きい。	基本的生活習慣の確立及び基礎学力の定着を図る。部活動や学校行事を積極的に体験させることによりAssess「自己を見つめ」、具体的進路目標の確立を進め、学習意欲を喚起する。
第2学年	200名以上の生徒が大学進学を希望しており、進路希望実現のためには更なる成績の向上を要する。 自己の判断に基づいて主体的に行動しようとする意識が不十分である。	基礎学力の定着と進路指導の充実を図る。部活動、学校行事に主体的に参加することによりAct「行動を起こし」、進路目標達成のために主体的に学習に取り組む姿勢を育てる。

第3学年	約200名の生徒が大学進学を希望しており、進路希望実現のために学力及び意識の向上が必要である。 部活動や行事等に対し、主体的に取り組んでいる。欠席・遅刻・早退が多くなる傾向が見られる。	個別面談を充実させることにより、個に応じた進路指導を通して進路目標を明確にさせ、Achieve「夢を達成させる」ことができるようにする。 コミュニケーション能力や規範意識の向上を図り、社会人としての資質を育む。
------	---	--

4 中期的目標

1 家庭学習の充実と授業や課外への積極的な取組を促し、進路を実現させるための学力の向上を図る。読書や様々な体験を通し興味・関心を高め、知的財産を育む。 2 体だけでなく心も鍛え、物事を最後まで諦めないで頑張ることの出来る精神力と「生きる力」を育む。マナー、命の尊さ等心の教育を充実する。 3 各行事を通して、友達と協力し、一つのことを成し遂げるための苦労や達成することの喜びを体験させ、よりよい人間関係を育む。 4 人間としての在り方生き方や望ましい職業観・勤労観を育成することにより、広い視野で考え行動できる豊かな人間性を育成する。 5 面接や日常の会話を通して、生徒の悩みや非行等の早期発見に努め、保護者や地域との連携を密にして、迅速・適切な対応を図る。基本的生活習慣を確立し、校内外を通してきちんとした制服の着用を促し、挨拶を励行する。 6 学校安全計画のもと、生徒が安心安全に学ぶことのできる環境を整備する。

5 本年度の重点目標

重 点 項 目	重 点 目 標
・学習意欲の高揚と学力の向上	各教科の特性に応じて、アクティブラーニングの授業形態を推進し、興味関心を高める指導を工夫する。公開授業・相互授業参観を推進し授業研究に努め、生徒の実態に応じた選択授業（習熟度別授業等）などを行い、教科指導の工夫・改善・充実を図る。
・生徒指導の総合的推進と「心の教育」の充実	挨拶や清掃を励行し、遅刻や欠席について対前年比10%減を目指し、正しい服装や基本的な生活習慣の確立を図る。また、交通安全教育を推進し交通事故の絶無に努める。
・キャリア教育の充実	キャリア教育の年間計画に基づき、計画に沿った進路行事を実施する中で、望ましい職業観・勤労観を育成する。生徒のライフキャリア全体を見通した適切な進路実現を図る。
・環境教育の充実と特別活動の活性化	学校行事や清掃美化および緑化活動を通じて奉仕の心や環境保全の意識を高める。生徒会活動や部活動を通して社会性を高め、豊かな情操を養い、明るく活力ある学校づくりを推進する。部活動加入率70%以上を目標とする。
・「道徳」教育の充実と「生きる力」の育成	自己の尊厳を深く自覚するとともに、善悪を正しく判断し、自分の行動に責任を持てるよう「道徳」教育の充実を図る。 “下館二高3Aプラン(Assess, Act, Achieve)自分を見つめ、行動を起こし、夢を達成する”の推進体制を整備し、進路について考察する学習活動を充実することにより、自己理解を深め「生きる力」の育成を目指す。
・学校安全計画の策定と学校安全の意識の向上	関連する教科・校務部・部活動等を含む学校安全計画の共通理解を図ることにより、安心安全な体制づくりをする。 学校安全委員会を年2回開催し、学校安全の状況をチェックしその改善を図る。